



contents

- P4 舟形町のうごき
- P5 町制施行70周年記念 地域映画
- P6 舟形町は今年、町制施行70周年を迎えます。
- P8 発掘！ふながたのお宝
- P10 ふなトピ
- P12 まちかど掲示板
- P13 地域おこし協力隊コラム「舟形見聞録」
- P14 新刊書の紹介、舟形文芸ひろば
- P15 二十四節気 舟形の暮らし、舟形まんぶく物語、カメラアングル
- P16 しめ飾りづくり講座



表紙の紹介

1月9日、舟形小学校で新春書初め会が行われました。児童たちは、「友だち」や「将来の夢」などの字に、一筆ひとふで気持ちを込めて書いていました。



御柴灯 (木友町内会)



初詣 (猿羽根山地蔵尊)



舟形町消防出初め式 (中央公民館)



令和6年

新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新年早々、能登半島地震で被害を受けられた皆様には、心からお悔やみとお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興を願っております。

昨年は、世界中で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症が、5月から季節性インフルエンザと同じ「5類感染症」に引き下げられました。

各種行事やイベントも徐々にコロナ禍前に戻ってきており、ふながた若鮎まつりも4年ぶりに開催することができました。天候にも恵まれ、コロナ前より多い2万2千人の来場者があり、多くの人が若鮎まつりを楽しみにしていたことがよくわかりました。

一方で、新型コロナウイルス感染症やウクライナでのロシアによる侵攻の影響などにより、電力・ガスをはじめとしたエネルギー価格や食料品価格などの物価高騰が続いています。町では、町民一人当たり1万円の商品券の配布

や農業用揚水ポンプの電気料金への補助、住民税非課税世帯に対しての一世帯当たり3万円の給付などを、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して実施いたしました。本年も引き続き、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響に対する支援に力を入れて取り組んでまいります。

昨年は舟形町と東京都港区との交流が始まってから、ちょうど50年の節目の年を迎えたことなどから、8月に「災害時相互協力協定」を締結し、10月には桜の記念植樹を行いました。今後とも、災害時の相互協力はもとより、さらなる港区との交流発展につながるものと期待しております。

さて、4月には農業系の専門職大学としては全国で2例目となる東北農林専門職大学が開校いたします。町では、農業の振興と交流人口の拡大などのために専門職大学との連携を図っていきたくと考え、教職員用と学生用のアパートをそれぞれ1棟ずつ建設したところ、定員を超える応募がありました。また、本年は舟形町が昭和29年に旧

舟形村と旧堀内村が合併してから70周年を迎えます。この70周年を記念していろいろな事業を計画しておりますが、その一つとして、地域の方々から提供していただいた昭和時代の8ミリフィルムなどを活用して地域映画を製作しています。地域の方々や中学生など幅広い世代のみなさんに参加いただきながら取り組んでおり、完成した映画をご披露できることを楽しみにしております。

現在取り組んでいる「第7次舟形町総合発展計画」は5年目となり、折り返しの年です。町民の誰もが幸せを実感できるよう、計画で目指している将来像「住んでいる人が誇れるまちづくり『わくわく未来ふながた』」の実現に向け、誠心誠意努力してまいります。

結びに、この新たな年が皆様にとってより良き年でありませうお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

舟形町長 森 富広

今年は「甲辰」です

干支は「十干」と「十二支」の組み合わせからなり、60年で一巡します。今年の十干は「甲」、十二支は「辰」のため、今年の干支は「甲辰」となり、十干十二支では41番目にあたります。

一巡前の「甲辰」にあたる1964年の日本では、経済成長を象徴するようアジアで初のオリンピックである、東京オリンピックが開催されました。舟形町では、衛生組合連合会が発足、町内では初となる信号機が舟形町役場前十字路に設置されるなどのできごとがありました。

「甲」は十干の1番目で物事の始まり、芽吹き、成長という意味があるそうです。

「辰」は龍（竜）のことであり、十支の中では唯一の空想上の生き物です。活気や繁栄、権力などの意味があるそうです。

60年に一度の「甲辰」の今年は、ものが動き出し、活気あふれるエネルギーが注ぎ込まれることと見られます。

